

授業科目 情報管理論

【担当教員名】 齋藤 翔太		対象学年	4	対象学科	情報
		開講時期	前期	必修選択	必修
		単位数	2	時間数	30
【ディプロマポリシーとの関連性】					
知識・理解		思考・判断		関心・意欲	
◎		◎		○	
【概要】 近年、臨床現場での意思決定にとどまらず医療政策の立案上の意思決定においても、レセプトデータをはじめとする医療情報の活用が極めて重要となっている。こうした国内外の動向を踏まえ、社会的な立場から医療情報を活用することを視野に入れた情報管理のあり方やそのために必要となる方法論について理解を深める。					
【学習目標・行動目標：SBO】					
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	医療情報の活用と管理のあり方				
2	医療経済評価の基礎				
3	医療統計学のエッセンス				
4	モデル分析1：Decision analysis				
5	QOL データの取扱いと解析				
6	生存データの取扱いと解析				
7	医療費データの取扱いと解析				
8	モデル分析2：Markov model によるシミュレーション				
9	不確実性の取扱いと解析：感度分析				
10	医療技術評価の動向				
11	医療情報と多変量解析				
12	医療情報とベイズ統計				
13	医療情報と臨床研究				
14	医療情報分野の今後				
15	まとめ				
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)					
参考書		詳説 薬剤経済学 ―限られる社会資源から最高の医療を― 森脇健介 他 京都廣川書店 2011・4,410円+税			
その他の資料					
【評価方法】 出席状況、学習姿勢、課題、レポートに基づき総合的に判断する。			【履修上の留意点】 講義・演習資料を電子媒体にて配布するためPC等の持参を求める。 講義進行や他者の学習の妨害行為を行う者に対しては単位を認定しない。		